■平成29年度以降入学者

「10.各種国家試験、資格認定と授業科目」

国家試験においては、必要な授業科目の単位を修得してかつ条件を満たせば予備試験が免除されるもの、あるいは必要な科目の単位を修得して、所定の実務経験年数があれば申請によって免許を取得できるもの等があります。また、工学部の関連ある学科の課程を修めて卒業した者及び卒業後実務経験のある者が受験できる資格もあります。以下の表に掲げたものは、その一例です。国家試験の取得要件等の詳細については、各自で関係団体への問い合わせ や市販されているガイドブック等で必ず確認してください。

※ 種別……

A：工学部の関連ある学科の課程を修めて卒業した者及び卒業後実務経験のある者が受験できる資格試験、あるいは在学中に受験できる資格試験（いくつかの例）

B：工学部を卒業することで試験の一部が免除される資格

C：工学部を卒業することによって試験を受けずに取得できる資格

所属学科	資格の種類	種別（※）	取得要件	問い合わせ先 （内線、URL等）
化学生命工学科	火薬類製造保安責任者	B	化学生命工学科卒業者は、一部の試験科目が免除される。	各種財団・関係団体
	毒物劇物取扱責任者	C	なし	
	特別管理産業廃棄物管理責任者 （感染性産業廃棄物以外の特別管理産業廃棄物を生じる事業場）	C	3年以上の実務経験。	
	危険物取扱者（甲種）	A	受験資格が得られる。	
電気電子情報工学科	情報処理技術者	A	なし	電気電子情報系事務室 jimu@nuee.nagoya-u.ac.jp
	第一級陸上無線技術士	B	所定の科目の単位を取得した者が卒業後、3年以内であれば、一部の試験科目が免除される。	岡田　啓　准教授 hiraku@nagoya-u.jp
	第一級陸上特殊無線技士 第三級海上特殊無線技士	C	所定の科目を履修	岡田　啓　准教授 hiraku@nagoya-u.jp
	電気主任技術者 （一種、二種、三種）	C	所定の科目を履修。1年以上の実務経験（一～三種は年数による）	早川直樹　教授 nhayakaw@nuee.nagoya-u.ac.jp
環境土木・建築学科	建築士 （一級、二級・木造）	A	国土交通大臣の指定する建築に関する科目（指定科目）を修めて卒業。一級建築士の場合は、卒業後に国家試験の合格と卒業後建築に関する実務として国土交通省令で定めるもの(建築事務）の経験が2年以上で免許登録が可能。	各種財団・関係団体
	建築設備士	A	建築学プログラムを卒業。卒業後、建築設備に関する実務経験を2年以上。	
	建築施工管理技士 （1級、2級）	A	環境土木・建築学科を卒業。卒業後、1級は指導監督的実務経験を1年以上含み、実務経験を3年以上。2級は実務経験を1年以上。	
	管工事施工管理技士 （1級、2級）	A	環境土木・建築学科を卒業。卒業後、1級は実務経験を3年以上、2級は1年以上。	
	造園施工管理技士 （1級、2級）	A	環境土木・建築学科を卒業。卒業後、1級は実務経験を3年以上、2級は1年以上。	
	土地区画整理士	A	環境土木・建築学科を卒業。卒業後、実務経験を1年以上。	
	技術士	B	環境土木・建築学科の卒業生は第一次試験が免除され「修習技術者」として実務修習につける。	
	ダム水路主任技術者 （1種、2種）	C	環境土木工学プログラム。1種は5年以上の実務経験。2種は3年以上の実務経験。	
	測量士	C	環境土木工学プログラムにおいて測量に関する科目を履修。1年以上の実務経験。	
	測量士補	C	環境土木工学プログラムにおいて測量に関する科目を履修。	
	水道技術管理者	C	環境土木工学プログラム。3年以上の実務経験。	
	水道布設工事監督者	C	ⅰ）環境土木工学プログラムにて衛生工学の科目を履修した場合。2年以上の実務経験。 ⅱ）環境土木工学プログラムにて衛生工学の科目を履修していない場合。3年以上の実務経験。	
	ダム管理主任技術者	C	環境土木工学プログラム	
	特定建築物調査員	C	（一財）日本建築防災協会の定める学科を卒業し、建築に関して2年以上の実務経験を有したうえ、講習会を修了。	
	建築設備検査員	C	建築学プログラムを卒業し、建築設備に関して2年以上の実務経験を有したうえ、講習会を修了。	
	建築物環境衛生管理技術者	C	理系の学部を卒業したうえ厚生労働大臣指定の講習会を修了。1年以上の実務経験。	

所属学科	資格の種類	種別（※）	取得要件	問い合わせ先 （内線、URL等）
その他	水道技術管理者	C	環境土木工学プログラム以外のプログラム。4年以上の実務経験。	各種財団・関係団体
	危険物取扱者（甲種）、消防設備士（甲種）、自動車整備士（2級・3級）、溶接技術者（SWE、1級、2級）、ガス溶接作業主任者、発破技士、ボイラー技士（特級・1級・2級）、建設機械施工技士（1級・2級）、土木施工管理技士（1級・2級）、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、エックス線作業主任者、放射線取扱主任者（1種・2種）、核燃料取扱主任者、原子炉主任技術者、昇降機検査資格者、衛生工学衛生管理者、消防設備点検資格者、インテリア・プランナー、コンクリート技士、コンクリート主任技士、コンクリート診断士	A	－	

■平成28年度以前入学者

「11.各種国家試験、資格認定と授業科目」　　（H28学生便覧　P.26）

国家試験においては、必要な授業科目の単位を修得してかつ条件を満たせば予備試験が免除されるもの、あるいは必要な科目の単位を修得して、所定の実務経験年数があれば申請によって免許を取得できるもの等があります。また、工学部の関連ある学科の課程を修めて卒業した者及び卒業後実務経験のある者が受験できる資格もあります。以下の表に掲げたものは、その一例です。国家試験の詳細については、ガイドブック等が市販されているのでそれらを参照して下さい。

※　種別……

A：工学部の関連ある学科の課程を修めて卒業した者及び卒業後実務経験のある者が受験できる資格試験、あるいは在学中に受験できる資格試験（いくつかの例）

B：工学部を卒業することで試験の一部が免除される資格

C：工学部を卒業することによって試験を受けずに取得できる資格

所属学科	資格の種類	種別（※）	取得要件	問い合わせ先 （内線、URL等）
化学・生物工学科 （Ⅰ系）	火薬類製造保安責任者	B	化学・生物工学科卒業者は、一部の試験科目が免除される。	
	毒物劇物取扱責任者	C	応用化学コース、分子化学工学コース	
	特別管理産業廃棄物管理責任者 （感染性産業廃棄物以外の特別管理産業廃棄物を生じる事業場）	C	分子化学工学コース。2年以上の実務経験。	
		C	上記以外のコース。3年以上の実務経験。	
物理工学科 （Ⅱ系）	高等学校教諭一種免許状[工業]	A	応用物理学コース。24ページの「10. 教育職員免許状」の項参照	文部科学省ホームページ「教員を目指す皆さんへ」 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou /kyoin/main13_a2.htm
電気電子・情報工学科 （Ⅲ系）	情報処理技術者	A	なし	Ⅲ系事務室 jimu@nuee.nagoya-u.ac.jp
	第一級陸上無線技術士	B	電気電子工学コースにおいて所定の科目の単位を取得した者が卒業後、3年以内であれば、一部の試験科目が免除される。	岡田　啓　准教授 hiraku@nagoya-u.jp
	第一級陸上特殊無線技士 第三級海上特殊無線技士	C	電気電子工学コースにおいて所定の科目を履修	岡田　啓　教授 hiraku@nagoya-u.jp
	電気主任技術者 （一種、二種、三種）	C	電気電子工学コースにおいて所定の科目を履修。1年以上の実務経験（一～三種は年数による）	早川直樹　教授 nhayakaw@nuee.nagoya-u.ac.jp
機械・航空工学科 （Ⅳ系）	［共通・その他］参照			
環境土木・建築学科 （Ⅴ系）	建築士 （一級、二級・木造）	A	国土交通大臣の指定する建築に関する科目（指定科目）を修めて卒業。一級建築士の場合は、卒業後建築に関する実務として国土交通省令で定めるもの（建築実務）の経験を2年以上。	
	建築設備士	A	建築学コースを卒業。卒業後、建築設備に関する実務経験を2年以上。	
	建築施工管理技士 （1級、2級）	A	環境土木・建築学科を卒業。卒業後、1級は指導監督的実務経験を1年以上含み、実務経験を3年以上。2級は実務経験を1年以上。	
	管工事施工管理技士 （1級、2級）	A	環境土木・建築学科を卒業。卒業後、1級は実務経験を3年以上、2級は1年以上。	
	造園施工管理技士 （1級、2級）	A	環境土木・建築学科を卒業。卒業後、1級は実務経験を3年以上、2級は1年以上。	
	土地区画整理士	A	環境土木・建築学科を卒業。卒業後、実務経験を1年以上。	
	技術士	B	環境土木・建築学科の卒業生は第一次試験が免除され「修習技術者」として実務修習につける。	
	ダム水路主任技術者 （1種、2種）	C	環境土木工学コース。1種は5年以上の実務経験。2種は3年以上の実務経験。	
	測量士	C	環境土木工学コースにおいて測量に関する科目を履修。1年以上の実務経験。	
	測量士補	C	環境土木工学コースにおいて測量に関する科目を履修。	
	水道技術管理者	C	環境土木工学コース。3年以上の実務経験。	
	水道布設工事監督者	C	ⅰ）環境土木工学コースにて衛生工学の科目を履修した場合。2年以上の実務経験。 ⅱ）環境土木工学コースにて衛生工学の科目を履修していない場合。3年以上の実務経験。	
	ダム管理主任技術者	C	環境土木工学コース。	
	特定建築物等調査資格者	C	（一財）日本建築防災協会の定める学科を卒業し、建築に関して2年以上の実務経験を有したうえ、講習会を修了。	
	建築設備検査資格者	C	建築学コースを卒業し、建築設備に関して2年以上の実務経験を有したうえ、講習会を修了。	

所属学科	資格の種類	種別（※）	取得要件	問い合わせ先 （内線、URL等）
環境土木・建築学科 （Ｖ系）	建築物環境衛生管理技術者	C	理系の学部を卒業したうえ厚生労働大臣指定の講習会を修了。1年以上の実務経験。	
共通・その他	教員免許	C	24ページの「10. 教育職員免許状」の項参照	
	水道技術管理者	C	環境土木工学コース以外のコース。4年以上の実務経験。	
	危険物取扱者（甲種）、消防設備士（甲種）、自動車整備士（2級・3級）、溶接技術者（SWE、1級、2級）、ガス溶接作業主任者、発破技士、ボイラー技士（特級・1級・2級）、建設機械施工技士（1級・2級）、土木施工管理技士（1級・2級）、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、エックス線作業主任者、放射線取扱主任者（1種・2種）、核燃料取扱主任者、原子炉主任技術者、昇降機検査資格者、衛生工学衛生管理者、消防設備点検資格者、インテリア・プランナー、コンクリート技士、コンクリート主任技士、コンクリート診断士	A	－	－